

以前より定評のある出水南中の緑化活動が、本年度、新たな展開を見せます。

学習環境を緑あふれる美しいものに整え、さらには地域との交流の拠点にするという従来のあり方に加えて、校訓の一つである「勤労」の精神に基づき、「汗を尊ぶ生徒の育成」という目標が加わります。

そこでは「生徒たちの手による緑化・整美」を通して、「命の大切さ」「命をはくむ喜び」「自然と共生することの大切さ」を学んでいくことになります。

具体的には、校内を三つのゾーンに分け、それぞれの特徴にあわせた活動を行なっています。また「環境教育」の視点を備え、地球温暖化対策を考えるきっかけとなる「緑のカーテン」、雨水の有効な利用のための「雨水タンク」も設置予定です。



勤労・生産ゾーン

「出南農園」では現在、サツマイモの作付けが行なわれている。育成、収穫、さらにそれを給食で食べる計画もあり、食育の推進も図る。

ビオトープゾーン

- 「湿地帯ビオトープ」
- 「乾燥帯ビオトープ」
- 「陰陽帯ビオトープ」

自然に親しみながら、自然の命の循環を学べるようにする。



地域交流ゾーン

従来整えられてきた、校舎棟を中心とした一帯。正門脇のコミュニティボードを利用して、地域の方へも、季節季節の花を紹介し、見ていただくようにする。

涼を呼ぶ「緑のカーテン」

この夏、第一校舎の一階部分に、朝顔の「緑のカーテン」が設置されます。地球温暖化対策について学ぶとともに、実際に涼しい風を教室に届けてくれるはずです。

ありがとうございます

〔熊本南ロータリークラブ〕

6月に行なわれたサルビアの花の植え替え作業では、苗代および作業についてご支援いただきました。

〔学校支援ボランティアの方々〕

サツマイモの植え付けの際に、出南農園をトラクターで耕していただきました。



頑張っています「緑の少年団」

「選択理科」で環境について学んでいた生徒たちから始まった出南の「緑の少年団」。現在緑化委員なども含め、30名ほどの生徒で構成されています。PTA会長が育成会長を務め、支援活動をしています。